

授業プログラム 「自分と友だちの気持ちに気づく」 小学校2年生～小学校4年生  
ねらい 自分自身の感情に気づき、自分と他者の感情の違いに気づく

#### 事前の準備

- ・ワークシートを人数分の2倍より印刷しておく（1人2枚記入する）
- ・場面が書かれた紙片を人数分の2倍より多く印刷（1人2枚使用する）
- ・切り離れた紙片を袋や箱に入れてくじ引きのように引けるようにしておく

#### 授業の展開例

##### 自己紹介

スクールカウンセラーについて説明

カウンセリングは心の相談であると説明

##### この授業のねらいの説明

心のことの特に気持ちのことについて少し深く考えてもらおうと説明

##### 導入

- ・感情を表現する単語を挙手で発表してもらう
- ・プラスの感情とマイナスの感情の2つに分けて板書
- ※感情ではない回答も上手く感情に結びつける

##### 作業内容の解説

- ・ワークシートを2枚配布
- ・「今日、国語のテストがある」と板書してどんな気持ちになるかな？と投げかける
- ・レーダーチャートを板書し、「心配な気持ちがすごく強いときには100に近い所に印を付けて…」  
といくつかの感情について具体的に説明し、レーダーチャートの作り方を解説する
- ・気持ちの感じ方には良い悪いがないことについて、表現を変えながら何度か説明する

##### 作業1の準備

- ・紙片をくじ引き（2枚）、ワークシートに貼りつける

##### 作業1

- ・「今貼り付けた、紙に書いてあることが起きたら、どんな気持ちになるか考えてみよう」と投げかける
- ・その気持ちをレーダーチャートに記入（赤鉛筆で記入する）

##### 作業2

- ・完成した自分のワークシートを持って教室内を移動
- ・自分と同じ場面でレーダーチャートを書いた児童を探す
- ・児童がお互いに、相手のレーダーチャートを自分のワークシートに写す
- ・気づいたことを、自分のワークシートの下の欄に記入する

##### まとめ

グラフの形は人によって違う…同じ場面でも人によって気持ちの感じ方が違う

気持ちは見ただけでは分からないが、人は自分とは違う感じ方をしていることに気をつける

場面の紙片

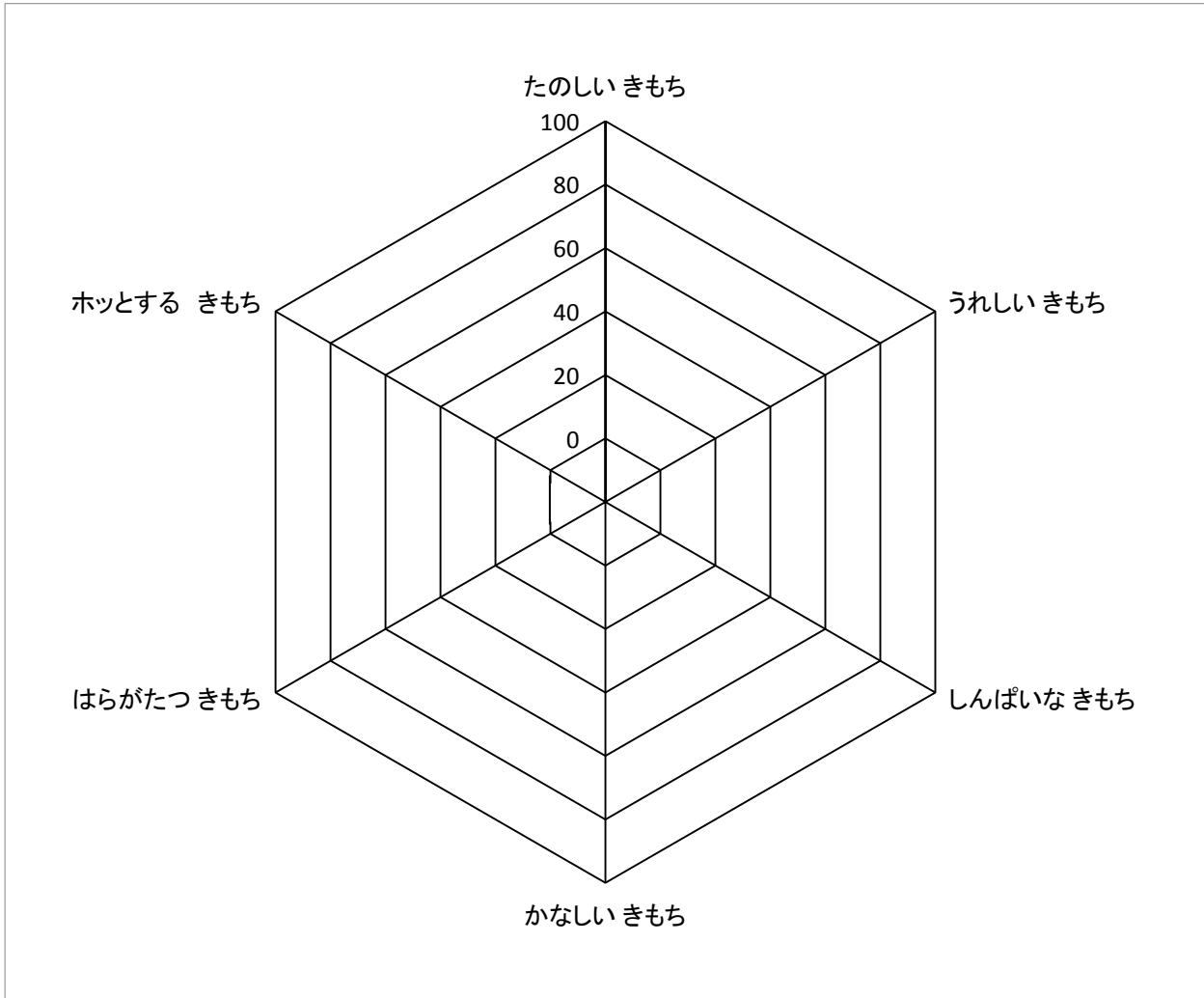
さんすう じかん て せんせい あ  
算数の時間に手をあげていないのに、先生に当てられた。

こくご じかん きゅう たいいく じかん か  
国語の時間だったのに、急に体育の時間に変わった。

やすみ じかん きゅう どりる じかん か  
休み時間だったのに、急にドリルの時間に変わった。

きょう きゅうしょく めにゆー さかな さんま  
今日の給食のメニューは、お魚のサンマだった。

きも  
どんな気持ちになるかな？



とも      なまえ  
友だちの名前 \_\_\_\_\_

おも  
思ったこと